令和６年度事業報告

公益社団法人　日本小児科学会

１．学術集会の開催

第 127 回学術集会を令和６年４月 19 日(金)から 21 日(日)まで「Bright futures to your birth！」をテーマに福岡県（ヒルトン福岡シーホーク　ほか）において、九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野　大賀正一会頭主宰により開催した。

（参加者 8,959 名（うち現地来場者 4,434 名）：一般演題数 928 題）

２．機関誌の発行

日本小児科学会雑誌、Pediatrics International をそれぞれ発行した。

３．専門医関連事業

1）小児科専門医試験を令和６年９月７日（筆記）、８日（面接）に神奈川県横浜市（パシフィコ横浜ノース）で実施し、審査により旧制度 30 名を認定した。また、暫定制度を含むプログラム制の一次審査を行い、487 名を合格とした。

2）日本小児科学会専門医（旧制度）の更新申請を令和６年３月及び９月に受付け、２名を合格とした。

3）日本専門医機構専門医の更新申請を令和６年３月に受付け、2,814 名を合格とした。

4）日本小児科学会研修施設の新規申請及び更新申請を令和６年３月及び９月に受付け、新規はなし、更新 19 施設を承認した。

5）日本小児科学会研修支援施設の新規申請及び更新申請を令和６年３月及び９月に受付け、新規はなし、更新４施設を承認した。

6）新専門医制度による研修プログラムの一次審査を行い、189 施設を承認した。

7）認定小児科指導医の新規申請及び更新申請を令和６年３月に受付け、新規 282 名、更新 779 名を認定した。

４．各種委員会等の活動

本学会が目的とする事業を達成するため、以下の委員会・ワーキンググループにおいて調査研究、学術集会・講習会・フォーラム等の開催、機関誌の発行、専門医制度の運営、関係機関に対する要望、提言、諸外国を含む小児科関連団体との連携・協議などの活動を行った。

・和文誌編集委員会　・英文誌編集委員会　・学術委員会
・用語委員会　・国際渉外委員会　・新生児委員会
・予防接種・感染症対策委員会　・社会保険委員会　・小児医療委員会
・小児医療提供体制委員会　・小児救急・集中治療委員会　・ＪＰＬＳ委員会
・医療安全委員会　・薬事委員会　・広報委員会
・情報管理委員会　・小児慢性疾病委員会　・移行支援委員会
・こどもの生活環境改善委員会　・ダイバーシティ・キャリア形成委員会
・倫理委員会　・将来の小児科医を考える委員会　・災害対策委員会
・利益相反委員会　・予防のための子どもの死亡検証委員会

・成育基本法推進委員会　　・中央資格認定委員会・各地区資格認定委員会
・試験運営委員会　　・生涯教育・専門医育成委員会　　・専門医制度運営委員会
・1か月・5歳児健診推進アドホック委員会
・働き方改革検討ワーキンググループ　　・オンライン診療検討ワーキンググループ
・小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群（MIS-C/PIMS）診療コンセンサスステートメント作成のためのワーキンググループ
・原因不明の小児の急性肝炎対策ワーキンググループ
・日本におけるRSウイルス感染症に対する抗体製剤・ワクチンの使用に関するコンセンサスガイドライン検討ワーキンググループ
・JPS-AAPこどもアドボカシー・ワーキンググループ
・専門医関係WEB化ワーキンググループ
・自律的意思決定が困難な患者の成人移行支援のあり方を検討するワーキンググループ
・民法改正に伴う父母の離婚後の共同親権導入への対策検討ワーキンググループ

日本小児医療保健協議会（四者協）担当合同委員会
・栄養委員会　　・治療用ミルク安定供給委員会
・重症心身障害児（者）･在宅医療委員会

5．フォーラム、講習会等の開催
1）JPLS講師養成コース（令和6年3月1日、6月8日、9 月4日、12月7日）
2）第14回日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム（令和6年3月2日）
3）小児診療初期対応（JPLS）コース　計55コース
（令和6年3月3日、5月11日、5月12日、5月26日、6月2日、6月8日、6月9日（2コース）、6月16日、6月23日（2コース）、6月30日（2コース）、7月7日（2コース）、7月21日（2コース）、8月4日、8月10日、8月11日、8月24日、8月25日、9月1日、9月7日（2コース）、9月8日、9月16日、9月22日（2コース）、9月28日、9月 29日（2コース）、10月13日（2コース）、10月20日（2コース）、11月3日、11月10日（2コース）、12月1日、12月7日、12月8日、12月15日、令和7年1月12日、（2コース）、1月19日（2コース）、1月26日（2コース）、2月1日、2月2日、2月8日、2月9日、2月16日、2月24日）
4）小児・周産期医療従事者向け災害医療研修会（令和6年4月20日）
5）小児救急市民公開フォーラム（令和6年5月19日、令和6年11月24日）
6）第17回小児在宅医療実技講習会（令和6年6月30日）
7）第6回小児死亡時対応講習会（令和6年6月30日）
8）第33回、第34回小児科医のための臨床研修指導医講習会（令和6年7月6～7日、令和7年1月11～12日）
9）第13回インテンシブコース（令和6年8月3～4日）
10）第17回Sedation Essence in Childen Under Retricted Enviroment （SECURE）コース（令和6 年10月12日）
11）第18回思春期医学臨床講習会（令和6年10月13日）

12）ワクチン忌避による動機づけ面接トレーニングワークショップ（令和6年10月26日）
13）日本小児科学会（小児医薬品開発ネットワーク）・小児治験ネットワーク・小児CRC部会共催シンポジウム（令和6年12月7日）
14）第19回子どもの食育を考えるフォーラム（令和7年2月11日）

6．ホームページに掲載した提言等

1）予防接種・感染症関係

・任意接種ワクチンの小児（15歳未満）への接種【改訂版】（令和6年4月）
・小児に対するワクチンの筋肉内接種法について【改訂版】（令和6年4月）
・乾燥弱毒性麻しん風しん混合（MR）ワクチン接種率の現状（令和6年4月）
・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール【改訂版】（令和6年4月）
・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール（保護者用）【改訂版】（令和6年4月）
・日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」（日本版Vaccine information statement（VIS））について【改訂版】（令和6年4月）
・学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説【改訂版】（令和6年5月）
・ヒトパピローマウイルスワクチン接種について（令和6年7月）
・日本小児科学会推奨の予防接種キャッチアップスケジュール【改訂版】（令和6年9月）
・日本におけるニルセビマブの使用に関するコンセンサスガイドライン（令和6年9月）
・血液培養ボトル出荷調整に関する小児の血液培養についての提言（令和6年9月）
・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール（英語版）【改訂版】（令和6年9月）
・マイコプラズマ肺炎流行に対する日本小児科学会からの注意喚起（令和6年10月）
・2024/25 シーズンの小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方（令和6年10月）
・小児における肺炎球菌結合型ワクチンの定期接種に関する考え方（令和6年10月）
・2024/25 シーズンのインフルエンザ治療・予防指針（令和6年12月）
・新生児におけるエコーウイルス11による重症感染症に関する注意喚起（令和6年12月）
・年末年始に、アジアやヨーロッパの国々に旅行される方、空港を利用される方～麻疹（はしか）にご注意ください～（令和6年12月）
・インフルエンザ流行に対する日本小児科学会からの注意喚起（令和7年1月）

2）Injury Alert（傷害速報）の学会ホームページ掲載

3）その他

・重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン（令和6年7月）
・母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）の臨床研究に関する日本小児科学会の基本姿勢2024（令和6年11月）
・乳児の安全な睡眠環境の確保について　2024年改訂「寝ている赤ちゃんのいのちを守るために」こども家庭庁）に関する見解（令和7年1月）

7．関係機関に提出した要望書等

1）新たに開発されたワクチンの国内における利活用に関する要望書（令和6年3月　厚生労働省健康・衛生局長、感染症対策部長　宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）

2) HPV ワクチンの男性に対する定期接種化に関する要望書（令和 6 年 3 月　厚生労働省健康・衛生局長、感染症対策部長　宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
3) 加熱式タバコに関する見解 及び要望（令和 6 年 5 月 財務大臣、厚生労働大臣　宛：禁煙推進学術ネットワーク構成団体として）
4) 沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の早期定期接種化に関する要望書（令和 6 年 6 月 厚生労働省健康・衛生局長、感染症対策部長　宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
5) 子どもが水筒を持ち歩くときの転倒事故に関する注意喚起について（令和 6 年 7 月　こども家庭庁成育局安全対策課長　宛：日本小児医療保健協議会構成団体として）
6) 長生堂製薬株式会社川内工場において製造された医薬品の取扱いに関する要望書（令和 6 年 7 月　厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長　宛）
7) ニルセビマブ製剤における診療報酬上の取り扱いに関する要望書（令和 6 年 7 月　厚生労働大臣　宛）
8) 科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書（令和 6 年 9 月　内閣総理大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術政策）　宛：日本医学会連合構成団体として）
9) すべての新生児・乳児に対して抗ウイルスヒトモノクローナル抗体製剤を広く提供するための体制整備に関する要望書（令和 6 年 11 月　厚生労働大臣　宛）
10) 組換え RS ウイルスワクチンの早期定期接種化に関する要望書（令和 6 年 11 月　厚生労働省健康・衛生局長、感染症対策部長　宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
11) チャイルドシート着用にかかる道路交通法改正に関する陳情書（令和 6 年 12 月　警察庁長官宛）
12) ステルイズ®水性懸濁筋注 60 万単位の供給一時停止、代替薬としての 240 万単位の使用控えについて（令和 6 年 12 月　ファイザー株式会社　宛）
13) 注意欠陥／多動性障害治療剤「アトモキセチン製剤」の安定供給継続に関する要望書（令和 7 年 1 月　厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官　宛）
14) 治療上必要性の高い医薬品の安定供給に関する要望（厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長　宛）
・ケイツーシロップ 0.2%（令和 6 年 10 月）
・ケイツーN 静注 5mg（令和 6 年 10 月）
・デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物・クレゾールスルホン酸カリウムシロップ（令和 6 年 10 月）
・ケトチフェンドライシロップ製剤（令和 6 年 10 月）
・ケトチフェン点鼻液製剤（令和 6 年 10 月）
・ジアゼパム製剤（令和 6 年 10 月）
・経口小児用セフジニル製剤（令和 6 年 10 月）
・経口小児用セフポドキシム　プロキセチル製剤（令和 6 年 10 月）
・ドンペリドン製剤（令和 6 年 10 月）
・パミドロン酸二 Na 製剤（令和 6 年 10 月）
・フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻液製剤（令和 6 年 10 月）
・エクラー®クリーム 0.3%、エクラー®軟膏 0.3%、エクラー®ローション 0.3%、エクラー®プラスター（令和 6 年 10 月）

・エスクレ®注腸用キット「500」、エスクレ®坐剤「250」、エスクレ®坐剤「500」（令和 6 年 10 月）
・インターフェロン－γ製剤（令和 6 年 10 月）
・テセロイキン製剤（令和 6 年 10 月）
・セファレキシン製剤（令和 6 年 10 月）
・アトモキセチン錠 5mg「タカタ」（令和 6 年 12 月）
・セルシン散１％、プレドニゾロン散「タケダ」１％、調剤用パンビタン末（令和 6 年 12 月）
・水溶性プレドニン®（令和 6 年 12 月）
・モンテルカスト細粒 4mg「ケミファ」（令和 6 年 12 月）
・ナウゼリン®坐剤 10（令和 6 年 12 月）
・レボカルニチン FF 静注 1000mg シリンジ（令和 6 年 12 月）
・テオフィリン徐放性ドライシロップ製剤（令和 6 年 12 月）
・カルボシステインドライシロップ製剤（令和 6 年 12 月）
・ビタメジン静注用（令和 7 年 1 月）

８．表　彰

小児保健賞 5 名、日本小児科学会学術研究賞 5 名を表彰した。

９．総会、役員会、その他

1）令和 6 年 4 月 20 日に通常総会を開催し、以下の付議事項を審議した。

付　議　事　項	結果
1 令和 6 年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書に関する件	承　認
2 理事の選任に関する件	〃
3 監事の選任に関する件	〃
4 第 130 回日本小児科学会学術集会会頭に関する件	〃
5 名誉会員推薦に関する件	〃
6 公益財団法人小児医学研究振興財団への寄付に関する件	〃

2）理事会

理事会を 11 回開催し、入会申込の審査、その他の案件に関する審議、報告を行った。

3）執行役員会議

執行役員会議を 5 回開催し、緊急案件、その他の議案について協議した。

１０．事業計画および収支予算書

令和 7 年 2 月 16 日開催の理事会において、令和 7 年度事業計画を承認、令和 7 年 2 月 21 日開催の理事会において、令和 7 年度収支予算書を承認した。

１１．社員・会員の異動状況

	令和６年度末現在	令和５年度末現在	増 減
社員（代議員）	585	585	0
正会員（代議員を除く）	22,728	22,545	183
団体会員	0	0	0

１２．常勤事務局職員の異動状況

令和６年度末人員	令和５年度度末人員	増 減
11	11	0

以上